

USB キーライセンス

USB ドングルライセンスを使用するためのドライバを [download](#) からダウンロードして下さい、詳細はアプリケーションノート [AP620](#) に記載されています

インストールに問題がある場合は、アプリケーション ノート [AP183](#) を参照してください。 一般的な問題に対する回答です。

Note: Windows 10 の場合 - インストーラーを実行する前に、まずドライバをコピーしてください。 ブルースクリーンまたはすぐに再起動する場合は、`haspdinst -install` を再実行してください。正しくインストールされます。

AP620 の内容

Polar の V21.01 以降のソフトウェアを使用するための FlexIm HASP インストーラーのダウンロードリンクです [Download](#)

- 1) ダウンロードしたインストールファイルを適切なフォルダに解凍して下さい 例) C:¥Tmp
- 2) elevated (作られた) コマンド プロンプトまたは PowerShell ウィンドウを開く
- 3) ドライバをインストールするには、インストール フォルダに移動し、次のようにタイプ入力します。

```
.\haspdinst -install
```

- 4) **重要!** `haspsrm_win32.dll` ファイルをコピーして ¥Windows¥System32 と ¥Windows¥SysWow64 のフォルダに入れてください。
- 5) ここで USB キードングルを挿して下さい
- 6) PC のコントロールパネル内のデバイスマネージャをチェックして USB の部分のリストが以下のようになっていますか？;
ここで USB ドングルキーの LED が赤く点灯していることを確認してください



新 USB キーの ドライバをアップグレードしていて、有効なライセンスファイルが既にある場合は、インストールは完了しています。

Polar ソフト用の USB キーについて

Polar ソフトウェア製品を V21 以降のバージョンにアップグレードする場合、旧式の USB ドングルキー（バージョン 3.25、ハードウェア 6.1）を使用している場合、英国以外の地域向け OS（フランス/米国/日本など）では互換性の問題が発生する可能性があります。これは、Gemalto、Revenera、Sentinel などの他の USB ドングルドライバを実行している場合に互換性問題が発生する可能性が高くなります。この場合は、バージョン 4.34、ハードウェア 7.2 の対策品の新型 USB キーを使用する必要があります。



旧型キー - version 3.25, hardware 6.1



新型キー - version 4.34, hardware 7.2

Polar から受け取ったライセンスファイルを入れる場所は C:\Program Files (x86)\Polar\Licences です。

- 1) USB ドライバが認識されているかどうかの確認は C:\Program Files (x86)\Polar\Licences に入っている lmtools.exe.を確認します
- 2) **System Settings** タブを開き、FLEXID に数値が入っていることを確認して下さい。

LMTOOLS by Flexera

File Edit Mode Help

Service/License File | **System Settings** | Utilities | Start/Stop/Reread | Server Status | Server Diags | Config Services | Borrowing

Hostid Settings	
Computer/Hostname	MIKE-5550
<input type="checkbox"/> Include Domain	
Username	Mike
IPv4 Address	192.168.2.5
IPv6 Address	
Ethernet	"c03ebad162e9 9c29760a92e5"
TPM_ID1	FNLS does not appear to be running
FLEXID	9-3f2ec3be

Time Settings	
System Time Zone	GMT Standard Time
GMT Time	Sun Feb 14 16:10:32 2021
Local Time	Sun Feb 14 16:10:32 2021
Windows Directory	C:\WINDOWS

Save HOSTID Info to a File